

## 今輝く 非核平和都市宣言

核兵器禁止条約の採択への貢献が評価された「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN)へのノーベル平和賞授賞式が10日に行われた翌日の11日、本会議で岩永市長は小西議員の質問に、「恒久平和を願う者として署名をおこなわせていただく」と答弁。

### 「甲賀市非核平和都市宣言」

平成17年12月19日制定

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。わたくしたちは、緑豊かな自然のなかで培われてきた歴史と香り高い文化に生まれ、日々平和な生活を享受している。この平和を恒久的なものにするため、世界唯一の核被爆国の国民として、全世界の人々に、被爆の恐ろしさ、苦しみを訴え、再びその惨禍を繰り返してはならない。

わたくしたち甲賀市民は、平和憲法の本質にのっとり、我が国の基本方針である核兵器を作らず、持たず、持ち込ませずという非核三原則を堅持し、あらゆる国の核兵器の廃絶を強く訴え、もって世界の恒久平和の実現をめざし、ここに「あふれる愛甲賀市」を「非核平和都市」とする。

## 岩永市長「ヒバクシヤ国際署名」に署名（議会答弁）



## ICT活用の授業を視察

### 12月7日に土山小学校で

甲賀市内の学校では、新年度から本格的に、タブレット授業が始まります。そこで、すでに試行ですすめられている土山小学校の授業を、日本共産党甲賀市議員団で見せていただきました。

今回は、小学校6年生の算数。子どもたちがタブレットを活用しながら、一定の図形のなかにある、法則を見つけ出すというもの。

30人の子どもたちがどんなふうにかかっているのか、タブレットを通して確認することができることはいいことです。電子黒板と接続して、教室みんなまで集中することもできます。

もちろん、ペーパーも活用しながらですが、「視覚」で理解を深めることもできます。ただ、課題はいろいろあります。機器のトラブルもあります。使いこなせているのか、教師の実践研究も必要です。

実際の授業を通じて出されてきた課題を、ひとつひとつ解決しながら、新年度に生かしてほしいものです。

そして、子どもたちが、こうした授業を通じて、理解度が深まったのかどうか、検証しながらすすめていく必要があります。

市では今年度から3年計画で全学校へのICT機器の導入を図る計画です。

## 要求実現 近況



岡田 重美 議員

### 一般質問を終えて

12月11日初めて一般質問に立ちました。選挙中に掲げた公約である介護保険制度の拡充、学校給食費負担軽減・無償化、中学校卒業までの医療費無料化、地域要望など4項目にわたって質問を行いました。

いざ発言席に立つと少し緊張しましたが、市民のみなさんの代弁者として丁寧に気持ちを込めて発言をしました。

12月議会も日程の半分が過ぎましたが、これからも各常任委員会、意見書の討論などが続きます。聞き慣れない言葉や、資料の多さにも悪戦苦闘の毎日ですが、最終日までがんばりたいと思います。(岡田重美)

## 日本共産党 甲賀市議員団ニュース

2017年 12月17日 第195号



山岡 光広  
甲南町森尻 16  
Tel 86-2985  
Fax 86-0415



小西喜代次  
信楽町勅旨 456  
Tel 83-0765  
Fax 83-0765



岡田重美  
土山町南土山甲 78-15  
Tel 66-0696  
Fax 66-0696